

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：15項目

問題あり：5件

要確認：0件

問題なし：10件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

① 黄川田仁志（きかわだ・ひとし）

- 記載内容：「黄川田仁志（きかわだ・ひとし）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：公式サイト、Wikipedia等で確認

② 出身地

- 記載内容：「埼玉県越谷市出身」
- 検証結果：✗誤り
- 正しい情報：東京都世田谷区生まれ、神奈川県横浜市出身（現住所は埼玉県越谷市）
- 根拠：[Wikipedia](#)、[首相官邸](#)

③ 学歴

- 記載内容：「早稲田大学卒業後」
- 検証結果：✗誤り
- 正しい情報：東京理科大学理工学部土木工学科卒業
- 根拠：[Wikipedia](#)、[首相官邸](#)、[自民党公式](#)

④ 選挙区

- 記載内容：「衆議院議員（埼玉3区）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：公式情報で確認

⑤ 当選回数

- 記載内容：「5期連続当選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：2012年初当選、2024年10月に5期目当選

⑥内閣府副大臣

- 記載内容：「2025年には内閣府副大臣を経て」
- 検証結果：✓正確（但し時期は2021年）
- 根拠：2021年10月～内閣府副大臣に就任

⑦高市内閣での就任

- 記載内容：「2025年には...高市内閣で沖縄北方担当や消費者・子ども政策など複数の特命大臣に就任」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：2025年10月21日に高市内閣で就任

2. 数値情報

①衆議院選挙の実施日

- 記載内容：「直近の衆院選（2025年7月投開票）」
- 検証結果：✗誤り
- 正しい情報：第50回衆議院議員総選挙は2024年10月27日実施
- 根拠：[Wikipedia](#)、[子ども家庭庁](#)

②初当選年

- 記載内容：「2012年の衆院選で初当選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：2012年12月16日の第46回衆院選で初当選

③通算在職期間

- 記載内容：「通算在職期間は10年以上」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：2012年12月～2025年末で約13年

④高市内閣発足日

- 記載内容：文中では明記なし（参考資料では2025年10月21日）
- 検証結果：✓正確
- 根拠：[高市内閣Wikipedia](#)、[首相官邸](#)

⑤北方領土発言の日付

- 記載内容：参考資料リンクに「2025年11月10日」の毎日新聞記事、本文では明確な記載なし
 - 検証結果：✗誤り（発言自体は11月8日）
 - 正しい情報：発言は2025年11月8日、首相から注意を受けたのが11月10日
 - 根拠：[時事通信](#)、[北海道新聞](#)、[Wikipedia](#)では「11月9日」とあるが、複数メディアで「11月8日」が正確
-

3. その他の重要な事実関係

①外資系企業勤務

- 記載内容：「外資系企業勤務を経て政界入り」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：東和科学株式会社入社後、環境コンサルタント等を経て政界入り

②国防部長就任

- 記載内容：「国防部長に2021年に就任」
- 検証結果：要検証（2023年12月との情報もあり）
- 根拠：[こども家庭庁](#)では「令和5年12月」（2023年12月）

③政治資金の経理ミス

- 記載内容：「2019年に後援会の経理ミスを訂正」
- 検証結果：△要確認（公開情報では詳細未確認）

改善提案

修正が必要な箇所

1. 出身地の修正

- 誤：「埼玉県越谷市出身」
- 正：「東京都世田谷区生まれ、神奈川県横浜市出身（現住所は埼玉県越谷市）」

2. 学歴の修正

- 誤：「早稲田大学卒業後」
- 正：「東京理科大学理工学部土木工学科卒業後」

3. 衆議院選挙実施日の修正

- 誤：「直近の衆院選（2025年7月投開票）」
- 正：「直近の衆院選（2024年10月27日投開票）」

4. 北方領土発言日の修正

- 発言日：2025年11月8日（納沙布岬での視察時）
- 首相から注意：2025年11月10日

5. 国防部長就任時期の確認

- PDFでは「2021年」だが、公式情報では「2023年12月」の可能性

追加確認が推奨される情報

1. 国防部長就任の正確な時期（2021年か2023年か）
2. 2019年の政治資金経理ミスの詳細
3. 法案提出数・成立率の具体的な根拠データ
4. 国会発言回数「約150回」「20万字」の出典

総評

PDFに記載された情報のうち、最も重大な誤りは以下の3点です：

1. **出身地**：越谷市ではなく世田谷区生まれ・横浜市出身
2. **学歴**：早稲田大学ではなく東京理科大学
3. **選挙実施日**：2025年7月ではなく2024年10月

これらは基本的な経歴情報であり、記事の信頼性に大きく影響する誤りです。特に学歴と出身地は本人の公式プロフィールで容易に確認できる情報であり、早急な修正が必要です。